

No. 200
2020. 9

ねば

広報

私たちの村

人口と世帯 令和2年8月31日現在

総人口	885人
男	427人
女	458人
世帯数	409世帯

村の木 す ぎ

村の花 岩つつじ

発行 根羽村役場
〒395-0701 長野県下伊那郡根羽村2131-1
TEL 0265-49-2111 FAX 0265-49-2277

ホームページアドレス <http://www.nebamura.jp>
メールアドレス info@nebamura.jp
印刷 龍共印刷株式会社



9月19日に保育所運動会が行われました。

※詳細は12ページ

9月号の主な内容

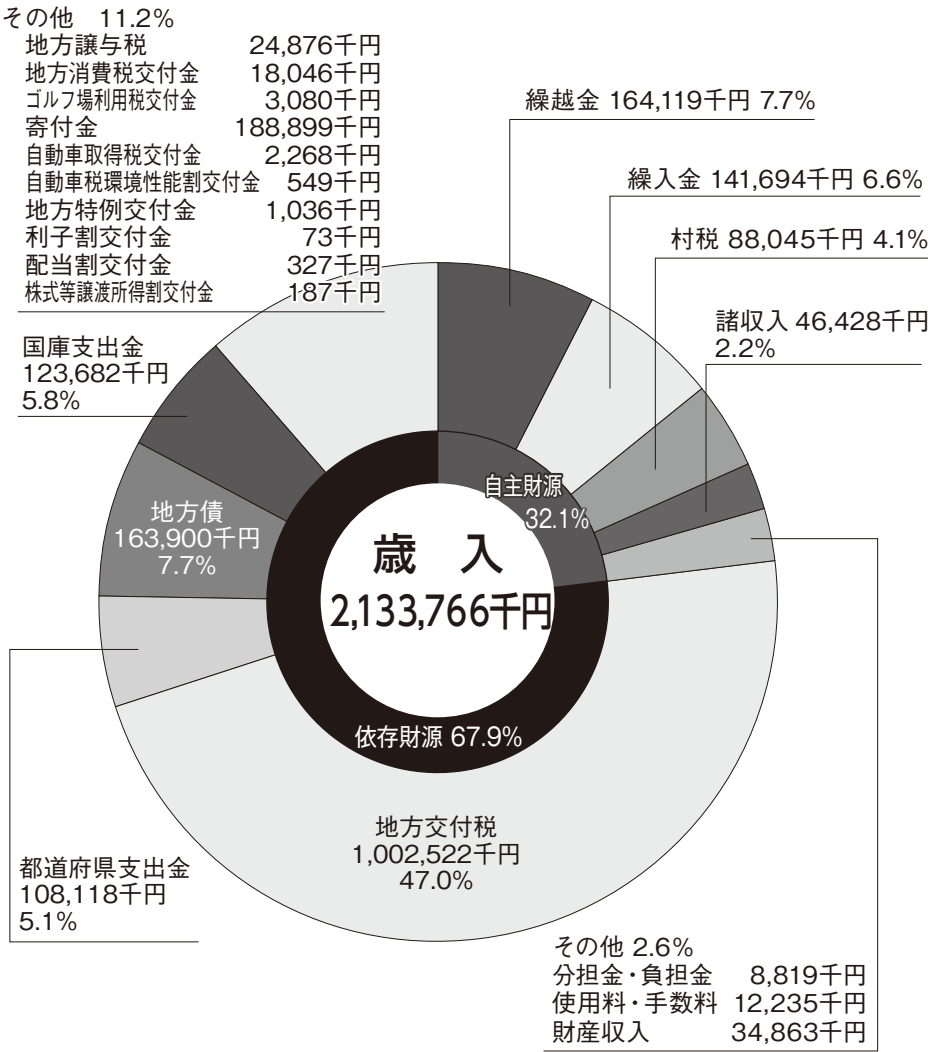
- 令和元年度決算 2～3ページ
- 議会だより 他 4～6ページ
- 令和元年度決算に基づく健全化比率の公表 他... 7ページ
- 国勢調査を実施しています 他 8ページ
- 柔道整復師・鍼灸師等にかかる時の注意 9ページ
- 敬老会の中止と根羽村祝食事券の配布 他... 10ページ
- 山仕事のための読書ノート② 11ページ
- 根羽村ケーブルテレビ番組追加情報 他... 12ページ

19億7,881万円

令和元年度の一般会計及び6特別会計の決算が9月定例村議会で認定されました。

一般会計と6特別会計の歳出総額は24億4000万円で前年対比12.0%の減となりました。

ここで、村の会計簿であり、村づくりの記録でもある令和元年度普通会計（一般会計と村営バス特別会計）の決算概要をお知らせします。



まず、歳入の状況をみますと、依存財源の比率は68%で、このうち地方交付税が全体の47%（対前年比2.0%増）、国庫支出金が5.8%（対前年比6.7%増）県支出金が5.1%（対前年比3.7%増）となっています。自主財源の比率は32%でこのうち村税は4.1%となっています。

次に歳出ですが、性質別にみますと、普通建設事業費が25.2%（対前年比50.9%減）次いで物件費19.5%（対前年比59.4%増）公債費（起債償還）16.9%（対前年6.5%増）人件費が11.8%（対前年比10.7%増）となっています。

が、根羽学園統合準備工事1億4851万5000円、ふるさと納税返礼品等経費1億4140万5000円余、小中学校空調設備工事2878万4000円、山吹住宅改修工事1314万5000円、林道新井小浜線開設工事1807万3000円などとなっています。

◇一般会計・特別会計収支の状況（単位：金額＝千円、率＝%）

	予算現額	収入済額	対前年比	支出済額	対前年比	差 引
一 般 会 計	2,149,628	2,117,457	△ 12.5%	1,965,011	△ 12.9%	152,446
バ ス 会 計	17,184	19,510	8.3%	17,001	9.6%	2,509
繰 入 金 調 整		△ 3,201	△ 15.9%	△ 3,201	△ 15.9%	0
普 通 会 計 計		2,133,766	△ 12.4%	1,978,811	△ 12.8%	154,955
国 保	99,279	94,481	△ 49.8%	93,720	△ 49.4%	761
簡 易 水 道	71,369	66,575	62.5%	66,575	62.5%	0
下 水 道	61,876	60,725	0.8%	60,725	0.8%	0
介 護 保 険	229,745	221,992	9.0%	221,247	10.3%	745
後 期 高 齢 者	18,447	17,952	2.1%	17,952	2.1%	0
合 計	2,647,528	22,598,692	12.9%	2,439,030	12.1%	20,159,662

決算概要 令和元年度

普通会計の歳出総額



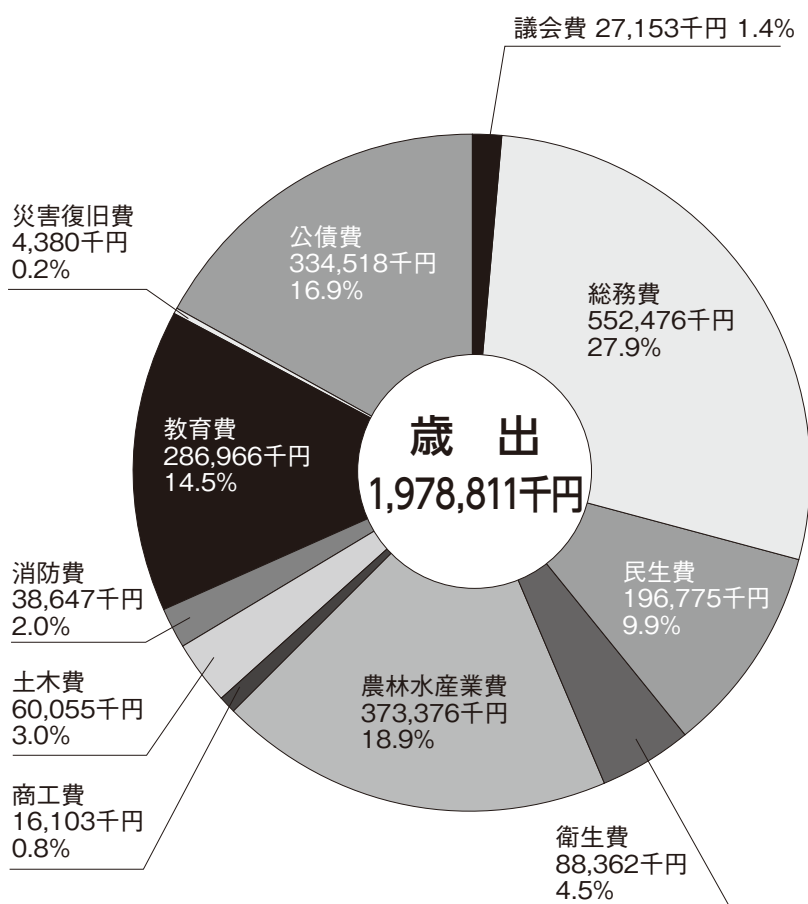
根羽学園玄関



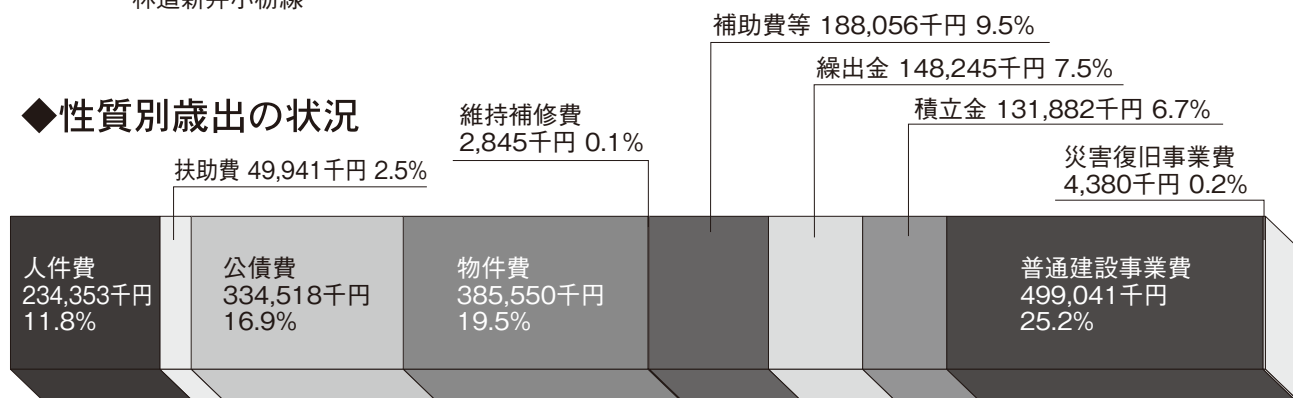
根羽学園空調設備



林道新井小析線



◆性質別歳出の状況



議会だより

9月定例会

「一般会計補正予算等

13議案について審議

9月10日・17日の2日間にわたり9月定例会が開催されました。

内容については次のとおりです。

一般質問

◆下井敦志議員

質問 根羽学園の教員確保の方針について伺いたい

①現在の不足教員数、理想とする教員数。非免許指導の教科の現状とその対応。現在の応募状況。県費の常勤講師の単年での転勤など有り得るかどうか。

②校長会だけに頼らず、独自に全国へ向けて発信し、教員を確保、採用することも考えられると思うが、今後どういった募集、採用の方法をとるのかその方針。村独自の教師、講師の登録制度等を創設してはどうか。

③質を確保し、どのような人材が必要かを明確にしておく必要があると思うが、どのような人材が必要と考えるか。

④定員以上の応募があった場合、移住定住の観点からみて、優秀な人材は村外に出さ

ない工夫が必要と思われる。

雇用の確保という観点から、次期採用をみこした期間の働き場所として、公営塾などの開設や、その他の受け皿としての仕事の確保は考えられないか。

⑤村費教師の採用枠の拡大は、村内雇用の確保にもつながり、非免許指導解消の一つの手立てとなると思われる。また、永住し、ずっと根羽学園に勤められる先生がいることは教育的効果も高いと思われるがどのように考えるか。

⑥将来的に保育所からの一貫教育を念頭に置くとすれば、幼稚園教諭を採用するという事は考えられないか。

⑦コロナ禍で影響を受けた行事などの補完など、児童生徒に対して村ができる事はどのような事があると考えるか。

回答 ①現在教科指導教諭が

13名、内訳は小学校にあたる前期課程3学級で教員3人の配当だが、8月から家庭の事情で一人の教員が退職し一欠となっている。村では村費の教員をきめ細やかな教育を推進するため雇用している。後

期課程の生徒は20名でそれぞれ単学級のため、3学級3人と選科教員4人と、複数校兼務の非免許解消非常勤教師として1名が配属されている。

それ以外に校長、教頭2人、養護教諭、栄養教諭、事務職員、ALTで、合計21名が根羽学園に在職している。非免許は4月当初、家庭科だけであったが、7月に退職教員が出たため、現在技術も非免許教科となっている。対処については、南信教育事務所と一緒に県内の講師データベースを活用、あるいは教員OBの情報網を活用し採用に当たった。しかし中々該当がなく愛知県の北設楽郡、豊田市など近隣市町村や安城市教育委員会にも協力を求めた。また今回フェイスブックによる募集も行い、3名から問合せがあり、最終的に1人の応募があった。15日に面接を行い長野県の常勤講師として10月から採用する。理想の教員数については難しいが、中学校では家庭科、技術併せて十教科、小学校が単学級とすれば六学級、合わせて16名の学科指導教諭が必要と考える。ただ現状では年によって違うが複数の免許を持つ教員がいた

りするため、何名が理想というものはないが、非免許解消を含め、きちんとした指導を考えればそうなるかと考える。県費の教員の転勤に関しては今回根羽村で独自に採用したため、これから半年間県の職員として根羽で勤務するが、その資質等を見極める中で今後も引き続き根羽に居てもらえるよう県に働きかけた。

②今後の採用方針としては基本的に県の配当が前提であるが、村では単独で村費の講師を補っている。今回SNSという今までにない募集を全国に発信し、三件の問い合わせがあったため今後も全国に発信するというのは有効であると考えている。県が採用するのが原則であるが、データベースとして持っているというのは必要であると思う。親子留学の成果により複式学級を解消することができると見込んでいる。今後も親子留学を推進し、複式学級を解消していくよう取り組むことで、村費の先生が要らなくなる可能性もある。採用については微妙な部分があると考えている。先生の異動も含め適切に解消していきたいと考える。

③人材データベースなどは今後優秀な人材を確保するためには必要であると考えている。そんな中、どのような人材を確保するかに関して、中山間地では若い大卒の人材、あるいは退職近い年代の配置が多いという事で、中間層の一番欲しい人材が不足しているのが実情。ある程度経験を持って取り組む優秀な人材が一番必要だと思っており、望むところである。ただ最近の傾向では中堅の皆さんは家庭を持ち他の地域で家を建てるという事で中々へき地の学校には来てもらえないのが実情。バランスの良い配置を県にも望んでいる。

④議員の仰る通り、公営塾等は働く場が増え移住定住に大きな効果があると考えている。公営塾については各村で色々取り組んでいるが、村でやる場合、どの程度子供たちにニーズがあるか、また開設する場合どこに主眼を置くかが重要であり、十分検討していく必要がある。教員の活用の場合も広がると思われる、引き続き教育委員会で検討していく。

⑤村費の教員採用拡大は親子留学を募集する中で、なるべく複式を解消したいと考えており、子供の人数、クラス編成を含めながら慎重に考えていく。講師の定住については、

根羽である程度長く勤めてもらえる職員がいれば、例えば県の職員との人事交流という事も考えられる。県にも働きかけながら検討していく。

⑥小中一貫校として根羽学園が発足したが、さらに保育園と連携を一層深め、保小中の一貫教育というのが必要だと思っている。ただ保育所は児童福祉法に定められた施設であり、保育所の運営には保育士の資格を持つものを当てることとなっているので、幼稚園教諭の採用は考えていない。現在根羽村の保育士全員が、保育士の資格の他に幼稚園教諭の資格を持っているのでノウハウは持っているという理解している。

⑦修学旅行や社会見学については時期の変更や目的の地を県内に変更し、運動会や文化祭に関しては開催時期の変更や来賓者の縮小等、規模は縮小となってしまうが、概ね当初計画どおり実施できるつもりである。今後休校なども考えられるがその都度検討していく。授業についてはGIGAスクール構想においてタブレットの一日も早い導入を準備しており、リモート学習がいち早くできるよう進めていきたいと考える。

質問 田島区世帯用定住促進住宅に見る今後の住宅建設の方針について

①住宅用地の新規取得は考えているか。また、今後建設するとすればどの地区を想定するか。

②親子留学制度を考えた場合、後どのくらいの住宅が必要と考えているか。

③村営住宅建設、空き家の活用を考え、中長期的な計画を立てる必要はないか。

回答 ①現在の住宅は昭和40年代から平成の初め頃に建設された古いものが多くなっているため、更新が課題となっている。そういった中、住宅用地の新規取得については、現在住宅用地の一部に民間の借地があり、村ではできるだけ村有地化していきたいと考えており、お話ができるところから進めていきたい。まずはそれをどこかの時点で解消できればと考えている。また、今後計画的に老朽化した住宅の更新にも取り組んでいきたいと考える。単身者住宅に関してはある程度準備ができていると考えており、世帯用住宅については更新の時期を迎えていると考える。今の段階では新規取得について具体的な

な計画は持っていない。安城市の親子留学など全体的な住宅の需要見込みを検討する中で計画的に進めていく。

②安城の親子留学用の住宅で整備させてもらったものが現在2棟、今年3棟の新築とあわせて、合計5棟整備する。それ以外についてもどれくらい安城市から来られるか未確定の部分があるがたくさん来て頂きたいという思いはあり、単身用の住宅でも母と低学年のお子さんなら生活できる可能性もあるので、そういった事も検討していく。こういった事も検討していく。どういった年代、学年で来て頂けるかを踏まえながら検討していく。

③現在71戸ある住宅が適正かどうかは時代のニーズにより違ふと思うが、今後Uターン、Iターンで一旦根羽に来て定住しようとした時に住む場所は重要で、村営住宅は一つの大きな手段になる。今後村営住宅には更新も含めて全体計画を早急にたてたいと思っている。生活の利便性、各地区にバランスよくとの要望も多く、そういった事も配慮しながら全体計画をたてていく。また空き家の改修での村営住宅については空き家に入りたい人へのニーズなど難しい部

分があると思うが、検討していく。最終的には一旦村営住宅に入ってもらい、どこかの時点で空き家を改修し入ってもらう、住宅を作ってもらったことで定住につながると考える。

◆原光史議員

質問 旧庁舎の今後をどの様に考えているのか。

①旧庁舎を今後どうするか。

②一般の人が誤って進入し事故に繋がった場合の対応、責任の取り方はどのようにするか。

③解体するとどれくらいの試算になり、予算の用途はいつているか。

④村民オークションは考えているか。

回答 ①現在移転から2年が経ち職員で時間を見ながら片付けており、概ね整理がついてきた。電波の問題で移設できなかった旧庁舎には無線の親局があり、今年度移転工事を進めており来年の3月には親局の移転が完了する。その時点で旧庁舎としての機能は完結すると理解している。

②現在全てに鍵をかけてあり、玄関には大きなバリケード、そして階段には新しく門扉を作り鍵をかけており一般

の人は入れない状況になっている。

③解体の試算は正式なものとはとっておらず、概算では7、8千万から1億くらいと聞いているが、正確には分からない状況。

④不用品で使えるものについては、村民の皆さんに低価格でご利用頂きたいと考えている。今年度中には村民の皆さんに見ていたいて、入札になるのか分からないが、再利用をして頂きたいと考えている。改めて整理をしてPRしていく。

質問 新型コロナウイルス対策について。

①庁舎職員を含め入庁者の検温の必要性について

②運動会、地区懇談会を止め、防災訓練実施について矛盾はないか。

③村独自の不要不急の村外への規制はどうか。

④発症後の誹謗中傷の対策はどうか。

⑤コロナが発症し対策本部が設置された場合、対策本部に議会のメンバーを入れていただきたいがどうか。

回答 ①役場庁舎は多くの人利用する施設という事で、感染を防ぐため、庁舎に来られる営業の方は入口で名刺を

置いて挨拶をして頂くとか、飛まつ防止板の設置、手洗い消毒液の設置などの体制を整えてきた。特に入口での検温はしていないができる限りの対策をとってきた。

②基本的に全ての行事を中止する考えは持つておらず、長野県の基準を見の中で、できる限り基準内のできる体制を整えながら実施をしていきたいと考えるが、中々難しいのが現状。村の防災訓練については、今年住民支え合いマップの最終確認作業を計画していた。それも含め密を避けて短時間で実施をさせていた。

③県の基準、また近隣の状況を見ながら情報を提供し、村として不要不急の外出を控える等の呼びかけをしたこともあったが、独自に規制するのは非常に難しい問題であるし、経済的な問題もある。県、近隣の情報を正確に伝え、呼びかけていく形が適当かと考える。今まで同様の対応ができればと思う。

④新型コロナウイルス発症時、関係者を誹謗中傷するのはやめましょうという呼びかけは当然としており、今後も機会あるごとにしていきたいと考える。
⑤対策本部の構成については

様々な状況を想定して検討させていただく。

条例

◆根羽村議会議員及び根羽村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

国の法律等の改正に伴い条例の制定がされました。

予算

◆令和2年度根羽村一般会計補正予算(第4号)

教育委員会管理施設長寿命化計画策定費313万千円等を追加し、総額20億8073万9千円余となりました。

◆令和元年度根羽村営バス特別会計補正予算(第1号)

運行業務委託費69万6千円追加し総額1819万6千円余となりました。

決算

◆令和元年度根羽村一般会計歳入歳出決算の認定

◆令和元年度根羽村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

◆令和元年度根羽村簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定

◆令和元年度根羽村下水道特別会計歳入歳出決算の認定
◆令和元年度根羽村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

◆令和元年度根羽村村営バス特別会計歳入歳出決算の認定

◆令和元年度根羽村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定

一般会計並びに6特別会計の決算審査が行われ、全7会計について原案どおり認定されました。

報告事項

◆令和元年度根羽村財政健全化判断比率

人事

◆教育委員会の委員の任命
教育委員の任期満了に伴い、片桐紳一郎さんの新任、石原久明さんの再任について同意されました。

意見書

◆新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

請願・陳情

◆義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願書

◆「へき地教育振興法」に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県

並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書
◆「複式学級の編成基準の改善、教職員定数増」を求める請願書

―採択―

第4回 臨時議会を開催

第4回臨時議会が8月6日に開催されました。内容は、次のとおりです。

補正予算

◆令和2年度根羽村一般会計

補正予算(第3号)

新型コロナウイルス対策予算等、1億2468万円を追加し、総額20億6389万5千円余となりました。

令和2年度のやまあいフェスティバル中止になりました

本年度の根羽やまあいフェスティバルについては、前回の広報でもお知らせしましたが、運動会を中心に10月10日(土)の一日開催を予定していました。

しかし、新型コロナウイルスの感染が全国規模で拡大し、収束の目途がつかない状況を鑑み中止することとしました。

楽しみにされていた皆さまにとつて残念なお知らせ



指 標 名	根羽村の数値		早期健全化基準	財政再生基準
	平成30年度決算	令和元年度決算		
実質赤字比率(%)	—	—	15.0	20.0
連結実質赤字比率(%)	—	—	20.0	30.0
実質公債比率(%)	3.6	5.7	25.0	35.0
将来負担比率(%)	—	—	350.0	

※実質公債比率以外はマイナスのため該当なし

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により健全化判断比率の公表をします。

令和元年度決算に基づく健全化比率の公表

各数値とも、基準を下回っています。今後も、経費の節減や繰上償還を実施するなど、健全な財政運営を目指します。

各数値の内容は次のとおりです。

① 実質赤字比率
一般会計と村営バス会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率を表したものです。

② 連結赤字比率
全ての会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率を表したものです。

③ 実質公債比率
全ての会計を対象とした元利償還金等や一部事務組合負担金のうち、地方債の償還に充てたと認められる者等の標準財政規模に対する比率を表したものです。

④ 将来負担比率
全ての会計と一部事務組合や三セク等を含めた将来的に負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率を表したものです。

根羽村の人事行政の運営等の状況を公表します

1. 職員数の状況

(2年4月1日現在)

年 度	一般行政									特別行政	公営企業等			総計
	議会	総務	税務	農林	商工	土木	民生	衛生	小計	教育	下水道	その他	小計	
元		7	2	4		2	2	2	19	8	0	1	1	28
2		7	1	4		2	2	3	19	7		1	1	27
	0	0	△1	0	0	0	0	1	0	△1	0	0	0	△1

職員の任免状況 新規採用：1人（R2.4.1付） 退職：2人（H31.1.31付）（H31.3.31付）

2. 職員の給与の状況

普通会計決算

※人件費には、議員報酬等各種委員報酬を含む

区分	歳出総額	人件費	内給与費			人件費比率
			給料	職員手当	小計	
元年度	1,978,811	234,353	70,606	40,136	110,742	11.8%

3. 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

- ① 1日の勤務時間 8：30～17：15 7時間45分 ② 1週間の勤務時間 38時間45分
③ 勤務時間を割り振らない日 土曜日及び日曜日 ④ 休日 国民の祝日に関する法律に規定する休日、12月29日～1月3日
⑤ 休暇の種類 年次休暇、療養休暇、特別休暇、介護休暇、組合休暇

4. 職員の分限及び懲戒処分

該当なし

5. 職員の服務状況

良好

6. 職員の研修等の状況

長野県職員研修センター主催研修等各種研修に参加

7. 職員の福利及び利益の保護の状況

- ① 加盟団体 根羽村職員互助会・長野県市町村職員互助会
② 公費負担状況 根羽村職員互助会 20万円 長野県市町村職員互助会 20万円

8. 下伊那郡公平委員会報告

勤務条件に関する措置要求 該当なし
不利益処分による不服申し立て 該当なし



村では、高齢者や障害者を中心とした交通弱者の方

宝くじの助成金で整備しました



の外出支援につなげるため、車椅子のまま乗降できる車椅子仕様車輛を整備しました。

この車輛は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業により整備されました。

令和2年 国勢調査を実施しています

ご回答はお済みでしょうか？

調査方法：調査員が各世帯を訪問し、調査書類を配布します
(不在の場合はポスト投函)

回答方法：インターネット回答または郵送での回答

回答内容：世帯員数、氏名、性別、勤め先についてなど全16の設問があります

国勢調査は5年に1度、10月1日現在を期日として行われる日本に住んでいる全ての人と世帯が対象の調査であり、法律で回答することが義務付けられている調査です。調査票の記入の仕方をよく読んでいただければ15分ほどで回答できる簡単な調査ですので、ご協力をお願いします。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、インターネット回答または郵送回答にご協力をお願いします。

・インターネット回答期間：9月14日(月)から10月7日(水)

・調査票(紙) 回答期間：10月1日(木)から10月7日(水)

根羽村役場 総務課 TEL.0265-49-2111

歯科口腔健診はお済みですか？

後期高齢者歯科口腔健診

長野県後期高齢者医療広域連合では、高齢者の方の健康づくり事業の一環として歯科口腔健診を実施しています。

高齢になると、むせこんだり、のどにつかえたりすることが多くなり、これが原因で誤嚥性(ごえんせい)肺炎(細菌が唾液や胃液と共に肺に流れ込んで生じる肺炎です。)を起こすことがあります。

お口の健康は、身体の健康への第一歩です。固いものが食べにくい、入れ歯が合わない、特に自覚症状はないが、お口の状態を確認したい方など、費用は無料です。ぜひこの機会に受診しましょう。

・対象者

(1)昭和19年4月1日〜昭和20年3月31日生まれの被保険者(令和元年度に75歳の誕生日を迎えた方)
(2)昭和15年4月1日〜昭和19年3月31日生まれの被保険者(令和元年度に76〜79歳の誕生日を迎えた方)のうち、直近で生活習慣病に

係る受診をされた経歴があり、かつ、令和元年度に歯科医療の受診がなかった方
案内通知など6月下旬に対象者に対し、案内通知と受診券を送付しています。

健診期間

令和2年7月1日(水)から令和2年12月30日(水)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、期間を変更する場合があります。

健診費用 無料

※健診により治療が必要な場合は、その治療費は本人負担となります。

対象医療機関 県歯科医師会所属の歯科医院(一部の病院を除く)

予約方法 対象医療機関へ直接予約をお願いします。

受診時に必要なもの

受診券

被保険者証

お薬手帳(無い場合は、不要です)

●お問い合わせ先

長野県後期高齢者医療広域連合

業務課 給付係

電話026-1229-15320



ハロウィンジャンボ 5億円

1等前後賞合わせて5億円
1等3億円、前後賞各1億円

9月23日(水) 同時発売

発売期間/9月23日(水)〜10月20日(火) 抽せん日/10月27日(火)

2つのジャンボでラッキーハロウィン!

ハロウィンジャンボ 1千万円

1等1,000万円

当せんのお宝が広がる

この宝くじの収益金は、市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

各1枚 300円

インターネット購入はこちら!

宝くじ公式サイト

https://www.tokai-shop.jp/lottery/

柔道整復師・鍼灸師等にかかるときの注意!!!

～正しく施術を受けましょう～

柔道整復師・鍼灸師（接骨院・整骨院など）の施術に国保が使えるのは、一定の条件を満たす場合に限りられていますので、ご注意ください。正しい利用を心がけて、大切な医療費を無駄づかいしないようにしましょう。

柔道整復師

○ 国保（保険）が使える場合

仕事中や通勤時以外の急性または亜急性（急性に準ずる）の外傷性傷病の場合は保険が使用できます。

◇打撲 ◇ねんざ ◇挫傷（肉離れ等）

◇骨折・脱臼・・・応急手当のみ

※緊急時以外は医師の同意が必要

× 国保（保険）が使えない場合

- ◆日常生活の中の疲れや肩こり
 - ◆スポーツなどによる肉体疲労
 - ◆神経痛（リウマチ・慢性関節炎など）
 - ◆加齢による腰痛や五十肩の痛み
 - ◆脳疾患後の後遺症などの慢性病
 - ◆仕事中や通勤途上の負傷
- ※全額自己負担となります。



鍼灸師等の施術を保険で

○ 受けられる疾患

- | | | |
|------|-------|---------------------------|
| ◇神経痛 | ◇リウマチ | ◇頸腕症候群 ^{けいわん} |
| ◇五十肩 | ◇腰痛症 | ◇頸椎ねんざ後遺症 ^{けいつい} |

マッサージの施術を保険で

○ 受けられる症状

- ◇筋麻痺・・・筋肉が麻痺して自由に動けないような症状^{こうしやく}
- ◇関節拘縮・・・関節が硬くて動きが悪い症状

◆注意◆

◇医療機関との重複受診はできません。

同一の負傷について、同時期に柔道整復師又は鍼灸師等と医師に重複してかかることはできません。ただし、負傷の状態を確認するために定期的に医師の検査を受けることはできます。マッサージは施術が長期にわたる場合、定期的に医師の診断と同意が必要です。

◇「療養費支給申請書」の内容を確認しましょう。

国保を扱っている柔道整復師の施術を受ける場合、窓口で保険証を提示し、一部負担金を支払うとともに、「療養費支給申請書」への署名が必要です。施術内容に誤りがないかをきちんと確認してから署名するようにしましょう。

◇施術内容を照会させていただくことがあります。

国保や健康保険で柔道整復師にかかった方に、負傷原因や施術内容などについて照会させていただく場合があります。これは、医療費適正化の一環として、請求内容に誤りがないかを確認するために行いますので、ご協力をお願いいたします。

— POINT —

接骨院や整骨院などで施術を行うのが柔道整復師です。

「治療」に当たるものですが、エックス線検査や外科的手術、薬剤投与などの医療行為を施すことはできません。

柔道整復師・鍼灸師等による施術費用はいったん全額負担し、あとから申請して一部負担金以外の費用を払い戻してもらうこと（療養費払い）が原則です。

ただし、地方厚生局と協定（受領委任）を結んでいる施設であれば、窓口で一部負担金を支払うことで施術が受けられます。

同意書用紙を提出してください

保険を取り扱っている接骨院・整骨院・鍼灸院には、医師の同意書用紙が用意してあります。この同意書を普段かかっているお医者さんに必要事項を記入してもらい鍼灸院等に提出してください。

必ず領収書を受け取りましょう

柔道整復師等には、領収書の発行が義務づけられています。

マッサージは症状に対する施術

マッサージは傷病名ではなく、症状に対する施術になります。

敬老会の中止と 根羽村祝食事券 の配布

今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に、敬老会を中止しました。村では敬老会招待者261名を対象に高齢者消費促進事業「根羽村祝敬老食事券」一人3500円分を配りました。この食事券は村内の飲食店、食料品店で利用でき、敬老会をお祝いするとともに、村内飲食店等の消費拡大を図るものです。利用期限が令和2年12月31日までですので、期限内にご利用ください。

また、8月31日と9月2日の2日間、95歳以上の方の高齢者訪問、米寿を迎えられた方の御祝い、91歳の方への記念写真の贈呈のため、村長が50世帯のお宅を訪問しました。皆さんとても元気に過ごされており、村長と楽しいひと時を過ごされました。



ジェネリック医薬品を利用しよう

病気やケガで医療機関を受診したとき、ジェネリック医薬品を利用すると、薬代の節約となるだけでなく、医療費全体の増加を抑えることができます。ジェネリック医薬品のことを正しく知って、積極的に利用しよう。

効き目は一緒に価格が安い

ジェネリック医薬品は、先に研究開発された薬＝新薬（先発医薬品）と同じ主成分で製造されており、効き目も同じです。新薬よりも開発の費用が低く抑えられるため、新薬よりも3～5割程度安いことが多く、長期に渡る服薬が必要な方や複数の薬を飲み続けなければならない方への経済的な負担が軽減されます。

おためし期間や工夫

これまで使用していた薬をいきなりジェネリック医薬品に変えることに不安がある場合は、試しに私用してみることもできますので、医療機関や薬局に相談ください。

※ジェネリック医薬品には、飲みやすくするために形状を小さくしたり、苦みをおさえるなど新薬よりも飲みやすく工夫されたものもあります。

安全基準を満たした安心な薬!!

ジェネリック医薬品は、新薬と同様に国の厳しい審査基準を満たしています。また、品質再評価（第三者が新薬とジェネリック医薬品の品質を評価できる制度）による品質の確認も進んでいます。

使用できない場合もあります

すべての医薬品にジェネリック医薬品が存在するわけではありません。

また、医師の治療方針や体質などによっては、ジェネリック医薬品をしようできないこともあります。

まずは医療機関の窓口で、「ジェネリック医薬品希望」の意思を伝えましょう。処方せんの変更不可欄に「×」や「V」の記載や医師の署名がなければジェネリック医薬品に変更可能です。服用方法などについては、薬剤師から説明を受けることができます。



☆変更の仕方：医療機関や薬局に相談しましょう☆

※ジェネリック医薬品のくわしい情報は
<http://www.generic.gr.jp/>

かんじゃさんの薬箱

検索

山仕事のための読書ノート②

山本 英介

(地域おこし協力隊員 根羽村森林組合へ出向中)



職業倫理

「私は木に話しかけないようにしています。木に話しかけているとむこうも私のことがわかるようになる、そうなるともうその木を伐れなくなってしまうからね。」

根羽村に来る少し前に訪れた奈良県吉野の林業家の方は古老然とした静かな語り口で極めて自然にそう言った。さすがの吉野林業のベテランの言葉は、たんなる思い込みとは感じられなかった。木を伐れなくなったら商売が成り立たない。「樹木は知性を持っているよ。」その人はそうも言った。樹齢250年と言われる杉の巨木の林は、何かラピュタのロボット兵を思わせるような、悠然と、少し悲しげな雰囲気では我々一行を見下ろしていた。そしてその話を聞いて、宮澤賢治の『なめとこ山の熊』を思い出した。

熊捕りの名人の小十郎は熊と話すことができるようだ。百戦錬磨の小十郎だが、ある時は母子の熊が月明かりの下ではほほましい会話をしているのを聞いて、胸がいっぱいになって後退りする。またある時は追い詰められた熊が小十郎に「死ぬのは惜しくないがまだやるべきことがあるから2年待ってくれ。」と言い小十郎はじっと立ちつくしてしまう。そしてそんな小十郎を、熊たちは好きなのだ。たとえ自分たちの命を奪う者であっても。

熊たちと話すことができるということは、小十郎をとて微妙な世界に誘い込む。

話のはじめのころ、鉄砲で一疋[※]の熊をズドンと仕留めた後、熊に向かってこう言う。

「熊。おれはてまえを憎くて殺したのでねえんだぞ。おれも商売ならてめえも射たなけえならねえ。ほかの罪のねえ仕事してんだが畑はなし木はお上のものにきまったし里へ出ても誰も相手にしねえ。仕方なしに猟師なんぞするんだ。てめえも熊に生まれたが因果ならおれもこんな商売が因果だ。やい。この次には熊になんぞに生れなよ。」

その微妙な世界のことを「因果」と小十郎は言っている。これは彼の、「因果」に基づいた職業倫理の表明だ。ついに小十郎は熊の反撃にあう。

「おお小十郎お前を殺すつもりはなかった。」

「…熊ども、ゆるせよ。」…

宮澤賢治 『なめとこ山の熊』

※疋：ひき。(匹) 動物を数える単位。

根羽村ではご承知の方も多いと思うが、林業は死亡事故率が他の産業に比べて圧倒的に高い。その内7割は伐倒・造材・集材中に起こる。木に潰されるのだ。これは木の反撃なのだろうか…。

駆け出しの林業作業員である僕は、もちろん木と話することはできない。今のところその兆しも感じられない。ゆえに話しかけることもない。ただ、年月が経って、なんとなく通じ合うような気がしてきたら、僭越ながら先の林業家の助言に逆らって木に話しかけてみようかなと、今は思ったりする。小十郎と熊たちが知っている、微妙な「因果」の世界を少しでも垣間見てみたいのだ。



山仕事のための読書ノートとは？

地域おこし協力隊の山本英介が、仕事上有益と思われる書籍を購入し、それらの紹介や感想などを文章にしたものです。購入した書籍は森林組合の本棚に並べられ、誰でも読むことができます。もし読みたい本があればお気軽に言ってください。山仕事に関係のあるものであればなんでも大丈夫です。

(第1回目の連載は、根羽村森林組合の広報誌に掲載されています。)

根羽村ケーブルテレビ番組追加情報

農事組合法人「杉っ子」さんの早朝の仕込みにお邪魔してきました。阿吽の呼吸で連携し合いながら、驚きの速さで次々に作業をこなしていくスタッフの皆さんに圧倒されながら、その様子を撮影させていただきました。



杉っ子さんの朝

とあるねばの

放課後子ども教室
in
ハッピーマウンテン

今年の夏休みに、根羽学園の前期課程の生徒たちを対象に、高橋地区のハッピーマウンテンにて放課後子ども教室が開催されました。

5頭の牛との触れ合いや、手作りウッドデッキやブランコなど。土地の管理者である山地酪農家の幸山明良さんの案内のもと、山で牛や自然に囲まれて思い切り遊ぶ生徒たちの姿を映像に映しました。

6月より地域おこし協力隊として活動している金邊です。根羽村に移住してから、早いもので4ヶ月が経ちました。山村の生活を村民の方々に教えていただきながら、季節の移ろいを感じる根羽での暮らしに豊かさを感じる日々です。

この4ヶ月間、周りの村民の方のご紹介や撮影のご依頼をきっかけに、たくさんの方の魅力的な活動や人と巡り合う機会をいただきました。

このコロナ禍で、村外からの人の出入りが難しい状況を踏まえて、根羽村ケーブルテレビでは、村内向けに発信する番組制作に取り組んでいきます。普段の生活を営む中で、中々見ることのできないあの人の活動や、行事の内側など。外から来た新参者の視点で切り取った根羽の良さや実態を、村内の皆さんに楽しんでいただける内容にしていければと考えております。

番組制作の周期は、本誌「広報根羽」と同じく2ヶ月に1度。チャンネルに映像を追加していくという形を予定しております。是非、お茶の間でお楽しみいただければ幸いです。

CATVの放映スケジュールは、毎日朝9時から3時間毎のサイクルになっています。

とあるねばのシリーズは、各サイクルスタート時に放映していますので、是非ご覧ください。

9月19日(土) 午前9時から根羽村保育所運動会が天候に恵まれ行われました。

本年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、来賓や種目等規模を縮小しての開催でしたが、園児たちは全ての種目を元気いっぱいに取り組んでいました。

また今回から新たにダンス種目を取り入れ、ぞうきりん組は自分たちが畑で育てたパプリカを題材に、「パプリカ」を踊り、うさぎ組は一人ひとりがヒーローになって「キラフルミラクルキラメイジャー」を踊りました。園児たちは保護者がいる練習とは雰囲気の違いもあって、息のあったダンスを披露してくれました。

保育所運動会

新規職員の紹介
よろしく願います

教育委員会配属

石森 智(上田市出身)

これまで民間企業に勤め、長野市、松本市、上田市、諏訪市、坂城町など、県内で勤務しておりました。

この度、縁あって根羽村役場にお世話になることになりました。早く仕事になれて、根羽村のお役に立てるように頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。